

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対して、十分なスペースを確保しており、一人一人に合わせたスペース作りをしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			個別療育のため、お子さんと保護者に対して必ず職員1名を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内だけではなく、建物全体がバリアフリー化されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			その都度、報告・連絡・相談を行うことを徹底し、ミーティングなどでお子さんと保護者への支援について、意見交換を行い、対応について話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にアンケート調査を行うとともに、意見箱も設置しています。頂いたご意見は、事業改善に活かすように取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ等で、1年に1回公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者委員は設置しておりませんが、外部からの研修や見学の方のご意見、ご感想を参考にしています。また、お子さんや保護者からのご意見を尊重し、今後も反映させていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人全体での新任研修に加えて、職員全体に対して部内研修を実施しています。また、事業所としては、発達障害への専門的な支援について事業所研修または、外部研修に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に支援目標を保護者と見返し、その都度合ったニーズが提供できるよう、職員間で共有した上で計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			療育開始時に、お子さんに対して、PEP-3や、コミュニケーション、自己理解に関するアセスメント評価を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員や外部からの助言をもとに、プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムについては、一人一人オーダーメイドで実施しています。また、アセスメントや、お子さんやご家族のニーズをもとに、子どもに合ったプログラムを提供するように努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			基本的にはお子さんの状態に合わせた課題設定にしています。また、夏休みなど、その時期に応じた課題も取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育が基本ですが、同時間に来られているお子さんと一緒に集団活動も取り入れています。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には、職員間で役割分担などの打ち合わせをし、その日の支援を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の支援終了時には、支援内容の振り返りとともに、問題点を共有し、次回の支援につなげております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録は正確に記録しております。また、今後の支援内容の検証に役立てたいと考えています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、職員間のミーティングで、見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			お子さんやご家族のニーズに合わせて、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルの向上に向けた様々なプログラムが提供できるよう、工夫しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者と個別担当の職員が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎は行っておりません。年度初めに、1年間の療育の予定表を保護者に渡しています。また、夏休みなどに、園や学校の先生にも療育見学に来ていただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在、対象となるお子さんはいませんが、運営規定には、体制の確立を明記しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者を通じて、情報共有をさせていただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		障害福祉サービスと直接的なやり取りは今のところありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターや大阪府障がい者支援センター、また、大阪府内の発達障がい児療育拠点など、他機関と連携し、情報交換を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	直接的な連携は、現在行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お子さんの状態や、家庭での状況などについて、保護者と共通理解を持ち、課題に取り組んでいます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者が発達障害について理解を深め、お子さんに応じた適切な支援を行うために、発達障害に関する保護者研修を行ったり、ペアレントトレーニングを行っています。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、重要事項説明書をもとに、運営規定、支援の内容、利用者負担などについて、丁寧な説明を行っています。

への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者同伴の療育ですので、日々の困りごとなどについて、その都度ご相談をお受けしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者研修にて、取り組み発表やグループワークなどを通して、保護者同士が情報交換できる場を作っています。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談窓口を設置し、事業所が提供したサービス等について苦情がある場合は、申し立てができるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報はありませんが、保護者とは連絡帳を通して活動内容の伝達をしております。また、療育見学等のお知らせについても、保護者を通してお便りを渡しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		利用者から、前もって文書で同意を得ない限り、利用児・利用者の個人情報を提供いたしません。また、利用児・利用者の家族に関する個人情報が含まれる記録物について、情報漏洩に対して細心の注意を払い、管理しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		療育は一人一人オーダーメイドで、お子さんや保護者に対して伝わるように具体的に、資料等を使って情報伝達をさせていただいています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		現在、行事は実施していませんが、今後の検討課題であると思われます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時、防犯、感染症に対するマニュアルは、職員間で周知しています。利用者に対しては、重要事項で説明していますが、マニュアルの閲覧等については今後の検討課題であると思われます。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に避難訓練を行っています。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人全体で虐待防止研修を実施し、日々、虐待防止マニュアルにのっとり、支援を行っています。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		どのような場合にやむを得ず、身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、虐待防止マニュアルに基づき、必要に応じた対応を行っています。また、必要な場合の対応については、児童発達支援計画に記載しております。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		事前に保護者を通じて、アレルギーの報告を受けています。療育には、保護者におやつや飲み物を用意して、持ってきてもらっています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの事例が生じたとき、報告書を作成し、法人全体で回覧するようにしています。	